

事業番号	0	6	7
実施計画事業			
実施計画事業以外の事業	○		

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	認可外保育所支援事業				担当部	こども未来部					
事業期間	昭和63年度以前 ~ 令和2年度以降				担当課	幼児教育・保育課					
新基本計画 (平成26年～平成30年)	基本施策	13	展開方向	3							
予算区分	一般会計	款	03 民生費	項	03	目	04	大	06	中	01

2. 実施状況

・待機児童の解消と認可外保育施設の適正な保育内容と保育環境を確保するため、愛知県から認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書の交付を受けた市内の認可外施設に保育を委託し、3歳未満児1人につき、一定額の委託料を支払う事業であるが、平成30年度の実績はなかった。

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1	
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	12,294
			国・県支出金	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			計(A)	千円	12,294	6,659	2,504	0
			対前年比	%	-	54.2%	37.6%	0.0%
			(当初)予算額	千円	14,238	7,740	10,080	3,672
			正職員	人	0	0	0	0
			正職員(平均人件費)	千円	0	0	0	0
			その他職員	人	0	0	0	0
			その他職員(時給×年間時間)	千円	0	0	0	0
			計(B)	千円	0	0	0	0
			事業費合計(C=A+B)	千円	12,294	6,659	2,504	0
指標	成果指標	受入児童数	目標	552	300	300	144	-
			実績	480	263	98	0	
	活動指標	対象施設数	目標	3	1	1	1	-
			実績	2	1	1	0	
			目標					
			実績					
	@事業費	受益者数(a)	人	-	-	-	-	
		受益者あたり事業費(b=C/a)	円	-	-	-	-	

診断結果	改善点は見られない	改善点が若干見られる	○	大いに改善すべき
	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度からの子ども・子育て新制度の施行に伴い、市の認可施設である小規模保育事業所へ移行する認可外保育施設が増えたため、年々、事業規模は縮小している。 ・平成30年度は委託の条件を満たす施設が無く、実績はなかった。 ・市内認可外保育施設に対して、県の認可外保育施設指導監督基準を満たすよう事業をアピールしていく必要がある。 ・待機児童について、年度当初では解消されたものの、依然として年度途中では発生する見込みであり、完全解消へは至っていない状況である。 			

4. 総合評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの			
削減額・対象	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の認可外保育施設の中には、愛知県から認可外保育施設指導監督基準を満たす見込みのある施設もあるため、今後も待機児童対策の一環として、本事業を継続すべきと考える。 				